

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第40週に2,935件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向が続いています。引き続き、マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

2 腸管出血性大腸菌感染症

今年の累計は23件となり、例年と比べて多い状況です。感染予防のため、肉類は十分に加熱し、生で食べる野菜や調理器具はよく洗いましょう。また、調理や食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

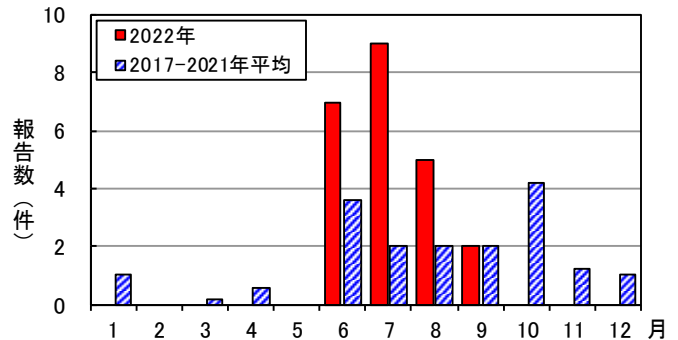
3 デング熱

1件(推定感染地域:国外)の報告がありました。デング熱は蚊が媒介する感染症で、デングウイルスに感染した患者を刺した蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を刺すことで感染します。2019年以前は全国で年間200件以上の報告があり、ほとんどが海外で感染し帰国後に発症した輸入症例です。熱帯や亜熱帯に広く分布しますので、流行地域を訪れる際は、長袖・長ズボンを着用し、昆虫忌避剤(虫除けスプレー)を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

【参考】デング熱について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000131101.html>

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2022年10月9日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.13		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.10	
小児科	咽頭結膜熱	3	0.14	0.21		眼科	RSウイルス感染症	14	0.64	1.02	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.55	1.33			急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	58	2.64	2.85			流行性角結膜炎	1	0.13	0.58	
	水痘	-	-	0.18			細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	19	0.86	1.34			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	6	0.27	0.21			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	20	0.91	0.51			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	23	20歳代・O157、50歳代・O91
4	デング熱	1	1	20歳代・推定感染地域:国外
5	梅毒	4	257	20歳代・1人、40歳代・3人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	第36週	-	-	4	47	1	15	-	2	9	-	39	-	3	-	-	-	-	-
	第37週	-	2	7	49	1	20	-	16	9	-	44	-	3	-	-	-	-	-
	第38週	-	2	6	42	1	24	2	7	10	-	46	-	-	-	-	-	-	-
	第39週	-	3	11	52	-	20	1	6	16	-	21	-	1	-	-	1	-	-
定点当たり	第40週	-	3	12	58	-	19	-	6	20	-	14	-	1	-	-	-	-	-
	第36週	-	-	0.17	2.04	0.04	0.65	-	0.09	0.39	-	1.70	-	0.38	-	-	-	-	-
	第37週	-	0.09	0.30	2.13	0.04	0.87	-	0.70	0.39	-	1.91	-	0.38	-	-	-	-	-
	第38週	-	0.09	0.27	1.91	0.05	1.09	0.09	0.32	0.45	-	2.09	-	-	-	-	-	-	-
全国	第39週	-	0.14	0.50	2.36	-	0.91	0.05	0.27	0.73	-	0.95	-	0.13	-	-	0.14	-	-
	第40週	-	0.14	0.55	2.64	-	0.86	-	0.27	0.91	-	0.64	-	0.13	-	-	-	-	-
	第36週	0.02	0.04	0.26	1.64	0.04	2.26	0.01	0.22	0.43	0.03	1.24	0.01	0.19	0.01	0.02	0.01	-	-
	第37週	0.01	0.05	0.33	2.01	0.06	1.98	0.01	0.27	0.45	0.04	1.18	0.01	0.17	0.01	0.03	0.01	-	0.01

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第40週(10月3日～10月9日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
421	452	365	434	508	337	151	148	118	1	2,935

【累計報告数(10月9日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
30,818	30,986	33,486	33,909	34,000	22,465	12,250	9,041	7,495	333	214,783

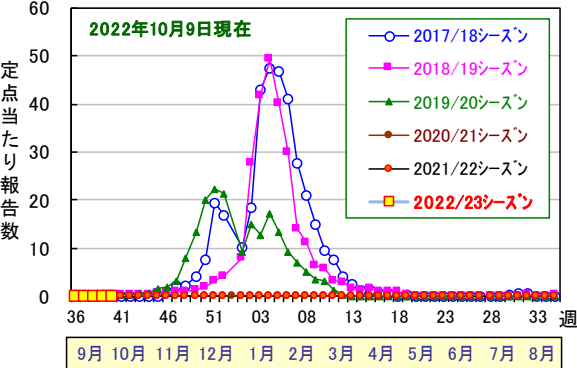
新型コロナウイルス感染症の相談窓口
コールセンター(積極ガードダイヤル) TEL:082-241-4566
全日24時間対応

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】季節性インフルエンザについて

新型コロナウイルス感染症の流行以降、インフルエンザの報告数は激減しました。しかし、今年の夏(南半球では冬)は、オセアニア、アフリカ南部、南米で、新型コロナウイルス感染症流行前と同等またはそれに近い水準の流行がみられました。国内でも少数ですが昨年より報告が増えており、学級閉鎖も6件(昨シーズンは1件)報告されています。

インフルエンザの流行状況(広島市)



◆インフルエンザ予防接種について

ワクチン接種を希望される方は、流行のピークに間に合うよう12月中旬までに接種を終えることが望ましいとされています。また、新型コロナワクチンとの同時接種が可能になりました。

◆高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種の助成について

【実施期間】令和4年10月15日～令和5年1月31日

【対象者】65歳以上の方、60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有し、その障害が身体障害者手帳1級に相当する方。

詳しくはこちらをご覧ください↓

令和4年度 高齢者を対象としたインフルエンザの予防接種について(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/296034.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp